

老舗の味とのれんを引き継ぐために、 公募で後継者探しに挑戦

レストランときわ

「事業承継が進まない理由」として、最も大きな課題は“後継者がいない”こと。大野市の恐竜街道沿いに店舗を構える『レストランときわ』のマスター 山田将雄氏 (77) は、後継者不在の悩みを抱え、解決の糸口を探していました。そんな時、耳にしたのは福井県が実施する『後継者全国公募プロジェクト』。味とのれんの承継にこの制度を活用することを決めました。



山田将雄氏



看板メニューのステーキ丼(税込1,500円)

レストランときわ

所在地: 大野市友江12-6
代表者: 山田明子氏
事業内容: 飲食業(洋食)
TEL 0779-65-3060

昭和14年に先代が三番通りに「ときわ食堂」を開業。昭和45年に山田氏が現在の地に新しく出店した。東京の有名ステーキ店で修業した山田氏が腕を振るう「ステーキ丼」が看板メニューだ。洋食がまだ憧れだった時代を経て、今では三世代の家族が食事に訪れる。

「むかしは、一張羅(いっちょうら。一番良い服)を着て、食べに行つたところなんだよ」。地元の人から、ハレの日の食事は『ときわ』に決まっていると言われる同店だが、ご子息は他の仕事に就き、その後なかなか後継者が見つからないまま、時が過ぎていった。現在は、体力とも相談しながら、月々金のランチタイムのみ営業をしている。

そんな時、大野市の担当者から候補者を公募してみないかと、福井県が今年度初めて実施する『後継者全国公募プロジェクト』を紹介された。「地域に愛される『ときわ』の味とのれんを、誰かに引き継いでほしい」という強い想いを胸に、全国に向けた情報発信で興味をもってもらえる候補者がみつかることに期待を寄せている。

①福井県『後継者全国公募プロジェクト』 11月公募開始!

後継者不在の小規模事業者の後継者候補を広く県内外から公募し、マッチングを図る『後継者全国公募プロジェクト』が11月から公募を開始します。マッチング後は、承継のための研修等の活動費(県外からのUターン希望者のみ)や、承継時の初期費用の支援も行います。

大野市商工観光振興課 藤田託也さん

大野市には、『ときわ』さんのように長年市民に愛されるお店が数多くあります。全国公募制度によって大野の魅力的な店舗を知ってもらい、事業承継のきっかけとなるよう期待しています。

②第三者承継を支援する県・福井県事業承継ネットワークのその他の制度

創業型の事業承継や産地内での再編統合など、親族以外の第三者への承継を応援する事業を行っています。

◆福井モデルの事業創継推進事業

後継者不在企業とUターン者や地域おこし協力隊とのマッチングを支援します。

◆優れた技術等の見える化事業

口伝などで引き継いできた優れた技術やノウハウを見える化するための手順書やマニュアル作成を支援します。

◆地場産業サプライチェーン維持支援事業

廃業によりサプライチェーンの分断等の懸念がないか現状診断を実施。必要に応じて福井県事業引継ぎ支援センターなどと協力し、合併・再編等の支援を行います。

お問い合わせ先

①福井県産業労働部(TEL 0776-20-0367) ②福井県事業承継ネットワーク(TEL 0776-67-7422)